



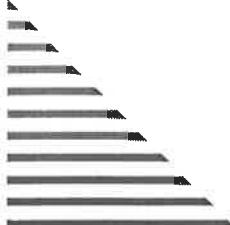
# 第 2 期長岡京市子ども・子育て支援事業計画

## 令和 4 年度事業概要報告



### 目 次

- 計画の目標値等 . . . . . P1～3
- 令和4年度の主な取り組み . . . . . P4～16
- 合計特殊出生率 . . . . . P17



長岡京市



○計画の目標値等（令和4年度末実績）  
幼稚園、保育所、認定こども園、地域型保育

＜計画＞

(単位：人)	令和2年度				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度								
	保育2号		保育3号		保育2号		保育3号		保育2号		保育3号		保育2号		保育3号		保育2号		保育3号						
	3～5歳	1・2歳	3～5歳	0歳	3～5歳	1・2歳	3～5歳	0歳	3～5歳	1・2歳	3～5歳	0歳	3～5歳	1・2歳	3～5歳	0歳	3～5歳	1・2歳	3～5歳	0歳					
①量の見込	862	250	1,175	740	140	816	250	1,169	740	140	776	250	1,172	745	140	760	250	1,185	750	140	742	250	1,211	755	140
②確保の内容	24	1,245	539	101	24	1,245	539	101	24	1,245	539	101	24	1,245	539	101	24	1,245	539	101	24	1,305	579	101	24
③差	838	250	12	26	9	792	250	12	26	9	752	250	12	26	9	736	250	12	26	9	718	250	12	26	9
合計	862	250	1,257	754	163	816	250	1,257	754	163	776	250	1,257	754	163	760	250	1,257	754	163	742	250	1,317	794	163
④差	0	0	82	14	23	0	0	88	14	23	0	0	85	9	23	0	0	72	4	23	0	0	106	39	23

＜実績＞

(単位：人)	令和2年度				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度								
	保育2号		保育3号		保育2号		保育3号		保育2号		保育3号		保育2号		保育3号		保育2号		保育3号		保育2号		保育3号		
	3～5歳	1・2歳	3～5歳	0歳	3～5歳	1・2歳	3～5歳	0歳	3～5歳	1・2歳	3～5歳	0歳	3～5歳	1・2歳	3～5歳	0歳	3～5歳	1・2歳	3～5歳	0歳	3～5歳	1・2歳	3～5歳	0歳	
①量の実績	891	238	1,077	741	131	862	222	1,087	732	133	748	231	1,162	771	164	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
②確保の内容	27	1,154	539	81	25	1,113	535	80	25	1,152	552	90	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
③差	864	238	0	1	0	837	222	21	1	0	723	231	28	0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	891	238	1,168	740	125	862	222	1,134	722	131	748	231	1,180	743	150	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④差	0	0	91	-1	-6	0	0	47	-10	-2	0	0	18	-28	-14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※①「量」は、保育所・こども園・地域型は利用申込数、企業主導型・認可外・未移行幼稚園は実利用者数（二申込数）。（両者の重複（二保育希望者の認可施設以外での受入）は除く）  
 ※②「確保」は、保育所・こども園・地域型については受入枠数（実利用者数＋空枠数）、企業主導型・認可外・未移行幼稚園は実利用者数。  
 ※③「差」は、実質的に、保育施設の「入所保留者数－空き枠数－他の施設での受入」となる。保留者数には、育休希望や特定の園のみ希望の数も含む。

## 地域子ども・子育て支援事業

### (1) 利用者支援事業（長岡京子育てコンシェルジュ）

(単位：箇所)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
②確保の内容	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
差(②-①)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### (2) 時間外保育事業（延長保育事業）

(単位：人)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み	603	558	597	438	589	560	585	585	583	583
②確保の内容	603	558	597	438	589	560	585	585	583	583
差(②-①)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### (3) 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

(単位：人)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み	1,068	1,054	1,087	1,110	1,200	1,208	1,240	1,240	1,210	1,210
②確保の内容	1,068	1,054	1,087	1,110	1,200	1,208	1,240	1,240	1,210	1,210
差(②-①)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### (4) 子育て短期支援事業（ショートステイ）

(単位：泊数)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み	20	14	20	34	20	7	20	20	20	20
②確保の内容	20	14	20	34	20	7	20	20	20	20
差(②-①)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### (5) 乳児家庭全戸訪問事業

(単位：人日)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み	672	622	663	676	656	603	649	649	639	639
②確保の内容	672	620	663	669	656	602	649	649	639	639
差(②-①)	0	-2	0	-7	0	-1	0	0	0	0
	0	-2	0	-7	0	-1	0	0	0	0

### (6) 養育支援訪問事業

(単位：人)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み	261	149	262	128	259	65	256	256	253	253
②確保の内容	261	149	262	128	259	65	256	256	253	253
差(②-①)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### (7) 地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター・つどいの広場）

(単位：人)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み	26,974	4,739	27,104	6,315	7,500	7,104	7,500	7,500	7,500	7,500
②確保の内容	26,974	4,739	29,800	6,315	7,500	7,104	7,500	7,500	7,500	7,500
差(②-①)	0	0	2,696	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(8) 一時預かり事業

(ア) 認定こども園において在園児を対象とした一時預かり

(単位:人日)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
①量の見込み	計画	4,000	3,227	2,676	2,632	2,751
	実績	2,457	2,190	2,911	—	—
②確保の内容	計画	4,000	3,227	2,676	2,632	2,751
	実績	2,457	2,190	2,911	—	—
差(②-①)	計画	0	0	0	0	0
	実績	0	0	0	—	—

(イ) 幼稚園新2号認定による利用

(単位:人日)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
①量の見込み	計画	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	実績	22,478	22,207	22,297	—	—
②確保の内容	計画	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	実績	22,478	22,207	22,297	—	—
差(②-①)	計画	0	0	0	0	0
	実績	0	0	0	—	—

(ウ) 保育園における一時預かり(民間5園)

(単位:人日)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
①量の見込み	計画	4,336	4,295	4,239	4,209	4,192
	実績	924	819	1,170	—	—
②確保の内容	計画	4,336	4,295	4,239	4,209	4,192
	実績	924	819	1,170	—	—
差(②-①)	計画	0	0	0	0	0
	実績	0	0	0	—	—

(9) 病児・病後児保育事業

(単位:人)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
①量の見込み	計画	1,300	1,287	1,270	1,261	1,256
	実績	376	652	1,006	—	—
②確保の内容	計画	1,300	1,287	1,270	1,261	1,256
	実績	376	652	1,006	—	—
差(②-①)	計画	0	0	0	0	0
	実績	0	0	0	—	—

(10) ファミリーサポートセンター事業

(単位:人)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
①量の見込み	計画	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
	実績	792	1,924	1,603	—	—
②確保の内容	計画	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
	実績	792	1,924	1,603	—	—
差(②-①)	計画	0	0	0	0	0
	実績	0	0	0	—	—

(11) 妊婦健康診査事業

(単位:人)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
①量の見込み	計画	8,270	8,159	8,703	7,987	7,864
	実績	7,440	7,258	7,255	—	—
②確保の内容	計画	8,270	8,159	8,703	7,987	7,864
	実績	7,440	7,258	7,255	—	—
差(②-①)	計画	0	0	0	0	0
	実績	0	0	0	—	—



第2期子ども・子育て支援事業計画令和4年度の主な取り組み

基本目標Ⅰ「子どもが健やかに育つ環境づくり」の主な取り組み

(1)人権尊重 (2)個性と能力を伸ばす教育 (3)社会性を育む遊び・交流の場 (4)健やかな成長の支援

	事業名	令和4年度の取組内容・評価・改善要素等	R4 主担当課
(1) 人権尊重	人権・男女共同参画フォーラム、障がい者児の人権を考える市民のひろば	12月3日(土)に中央公民館で「障がい者児の人権を考える市民のひろば」を開催、舞台発表・展示・販売等を行いました。 同日同場所で「人権・男女共同参画フォーラム」を開催し、盲目のヴァイオリニスト増田太郎さんの講演ライブ、人権擁護委員による活動報告、団体活動の報告、作品発表、パネル展示、人権相談などを行いました。 一部新型コロナウイルス感染拡大の影響はありましたが、いずれも感染症対策を講じながら、障がい理解、人権意識、男女共同参画意識の普及・高揚を図り、当日は370人の来場がありました。	障がい福祉課 共生社会推進課 男女共同参画センター
	人権教育・啓発推進	人権啓発作品募集では、4,179人から4,649件の応募がありました。また、人権問題研究市民集会を人権啓発作品の展示会形式で開催し、147名の来場がありました。市民集会は、京都府南部15市町村でつくる山城人権ネットワーク推進協議会主催の山城人権フェスタと同日開催し、多くの市民の方に人権について考える機会としていただくことができました。	生涯学習課
	発達支援保育実施事業(人権教育)	障がいの有無にかかわらず、多様なニーズを持つ子どもが共に育ち合う保育の場を築けるよう体制整備と職員の専門性の向上に努めています。令和4年度は、公立保育所において、16人の支援加配保育士の配置により、22人の支援を必要とする児童を受け入れ、障がいの有無に関わらず育ちあう保育を実施しました。また、保育所内での支援担当者会議等を実施するとともに、外部の研修に参加しました。	子育て支援課
	わたしの主張発表大会	小・中学生たちが考えたり感じたりしていることを発表する機会として「わたしの主張発表大会」を開催し、「FMおとくに」長岡京スタジオで収録しました。各小・中学校から1名ずつ選ばれた小学生10名、中学生4名が参加しました。「FMおとくに」が収録音源を年末年始に計2回放送しました。	教育支援センター
(2) 個性と能力の教育	中学生英語暗唱大会、小学生アイデア作品展	「中学生英語暗唱大会」は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、学校関係者と発表者の保護者のみの来場に制限し、初めて市民ホールで実施しました。中学2・3年生、計34名の発表者の参加があり、会場はこれまでの図書館の会議室より広く、舞台もありより良い環境で実施することができました。「小学生アイデア作品展」では、工作110点、自由研究65点、計175点の出展があり、2日間で計968人の参観者に来場いただきました。1日目の展示の様子が京都新聞に掲載され、作品展の様子を一般市民にも広く知らせることができました。	教育支援センター
	教育支援委員会	障がいや発達に課題のある子どもの就学前から小・中学校へと連続した教育的支援の充実のため、教育支援委員55名で構成する委員会に新入児審議部会と在校生審議部会を設け、保護者の同意を得た審議資料を基に、就学先と支援の在り方について審議しました。審議件数は新入児が47件、在校生が155件、合計202件でした。	教育支援センター
(3) 社会性を育	放課後子ども教室推進事業	児童が放課後等を安心・安全に過ごし、多様な活動を行うための事業として実施しており、令和4年度は、各校区とも少しずつ活動を増やし、のべ開催日数298日(前年度32日)、プログラム数590(前年度36)、参加児童数9,528人(前年度924人)となり、2年間のコロナによる活動停止、縮小期間を経て、本格的な活動再開の年となりました。	生涯学習課

	事業名	令和4年度の取組内容・評価・改善要素等	R4 主担当課
む遊 び・ 交 流 の 場	長岡京市少年少女発明クラブ	子どもたちに科学的な興味関心を持てる場を提供する少年少女発明クラブにおいては、定員となる25名が参加し、計12回の活動の中でラジオを作成しました。全員が作品を完成させることができ、工作の楽しさや達成感を味わってもらうことができました。	中央公民館
	子どもの読書啓発事業	図書館内外で、乳幼児期から小学生までの成長段階に応じた読み聞かせやおはなし会、本の紹介イベント等を実施し、本との出会いの場を提供しました。中高生同士が交流を深め同世代に訴えかける情報発信を行う場作りのため、図書館で活動する中高生の集まり「知恵の実」の事業を行いました。2階児童室の調べものの本について、子どもが探しやすいよう背表紙ラベルに記載の本の分類番号順に並べ替えを行いました。また、遠くからでも目的の書架にたどり着けるよう、書架の上に立体式のサインを設置しました。図書館内外で、乳幼児期から小学生までの成長段階に応じた読み聞かせやおはなし会、本の紹介イベント等を実施し、本との出会いの場を提供しました。	図書館
	児童館各種体験学習教室事業	児童館クラブ活動は習字くらぶ、和太鼓くらぶ、ダンス教室を開催し、地域内外の交流や異年齢間の交流、集団行動などの体験学習を行いました。令和4年度の体験教室については、小学生デイキャンプ教室、手作り教室4回、体験教室3回を実施し、コロナ禍前と同程度の開催数を行うことができました。	北開田児童館
	やすらぎクラブ長岡京「多世代の交流」事業	開田保育所、滝ノ町保育所の園児と共に、お花の寄せ植えを行いました（高齢者の参加者27名）。例年であれば、高齢者の知識・経験を活用し、高齢者と多世代が連携・協調できる機会として、地域スポーツ少年団（バレーボール、サッカー、バドミントン、バスケットボール）と共に、小泉川流域の清掃を行います。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の関係で中止となりました。	高齢介護課
	地球温暖化対策（COOL CHOICE）推進事業	小学生の親子を対象にミニソーラーパネルを使った「再エネ工作教室」を実施し、発電実験や工作を通して温暖化対策について学んでもいただくことができました。参加定員が少ないので、より啓発効果を高めるため、参加枠を増やすか、事業の成果を別途情報発信するような改善の余地があります。	環境政策室
	環境都市宣言啓発推進事業	環境フェアを農業祭との合同開催で実施し、地元団体や企業の工夫を凝らしたブース運営を通して、親子で楽しみながら環境や農業のことを学んでもらえる一日となりました。 親子連れがよく訪れる西代里山公園管理棟（西山ホテルの家）においては、ゲンジボタルを育てる会等の常設展示コーナーを新設し、訪れた人が環境保全活動に目を向けることのできる場としました。	環境政策室
	保育所地域活動事業	園庭開放や保育所行事への参加、世代間交流事業など各園の特性を活かしながら、保育所が地域に開かれた社会資源として、より身近な相談・交流の場となるよう活動の啓発を行う事業です。令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業が実施できませんでした。	子育て支援課
総合型地域スポーツクラブ育成事業	コロナ禍においても地域スポーツの振興を図るために、本市のガイドラインに準じた感染対策ガイドラインを作成し、スポーツに親しむ行事等を実施し、健康、体力の育成を図りました。 総合型地域スポーツクラブの未設置校区へ働きかけ、全校区に総合型地域スポーツクラブの設立ができるよう取り組むとともに、既存クラブが安定的な運営を確保できるよう支援を行いました。	文化・スポーツ振興課	



	事業名	令和4年度の取組内容・評価・改善要素等	R4 主担当課
	児童室の一般開放	今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために休館をすることなく、コロナの影響を受けた一昨年度や昨年度に比べると年間利用者数は倍増以上となり、延べ2,310人（921組）の利用がありました。定員制限や職員によるおもちゃの消毒など、コロナ対策を実施しながら毎週金・土・日曜日に児童室を開放し、あそびの環境を提供することが出来ました。	中央公民館
	児童館機能の充実事業	日常の児童館利用については、新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインを随時更新し、ガイドラインに沿った形で安心安全な児童館運営を行いました。 設備について、外壁及び屋上防水改修を行うため、実施設計を行いました。	北開田児童館
	公園緑地整備事業	市内7公園の老朽化した遊具等の公園施設の更新等を行い、子どもたちが安心して遊べる環境づくりを行いました。引き続き、子ども同士の交流の場としてのびのびと遊べる環境を整備します。	公園緑地課
	西山キャンプ場管理運営事業	子どもたちの環境学習や野外活動の貴重な体験の場として、安全に活動できるよう、雨風等による木材の腐食により床板や手すりが傷み、危険な状態となった橋数箇所について、架け替えや床、手すりの取り換え、補強を行いました。また、給水タンク内の部品の破損によりタンクに水が溜まらなくなっていたトイレ2箇所を修繕しました。 年間の利用者は合計186人でした。今後は関係各課と連携しながら、活用方法を検討する必要があります。	生涯学習課
(4) 健やかな成長の支援	指導者育成事業	令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、宿泊を伴うサマーキャンプに代わり、3日間にわたるデイキャンプを実施しました。小中学生が子供会指導者連絡協議会の大学生の引率のもと、班別に行動し、リーダーシップやコミュニケーション能力、協調性など社会生活に必要な能力を育くむ機会とすることができました。	生涯学習課
	地域で支える中学校教育支援事業	中学校、地域コーディネーター、地域ボランティアが連携し、各中学校のニーズに応じた地域ボランティアによる、学習支援、部活動支援、図書ボランティア、授業補助等を実施しました。多くの方にボランティア登録いただき、支援いただける機会を増やすとともに、中学校の方針やルールを説明し、ボランティアの方に充分理解いただく必要があります。	生涯学習課
	教育支援センター事業	教育相談・就学相談は、専門的な立場から助言を行うとともに関係機関との連携に努めました（教育相談：1,755件・実件数114件・電話相談544件、就学相談：1,030件・実件数181件・電話相談446件）。不登校の状態にある児童生徒の居場所である『アゼリアひろば』では、体験活動なども取り入れながら、集団生活への適応や情緒の安定、基礎学力の充実、基本的な生活習慣の改善等の相談や指導を行い、児童生徒が主体的に学校復帰や社会的自立につながるよう支援しました。	教育支援センター

## 基本目標Ⅱ 「子育て家庭を支える環境づくり」の主な取り組み

(1)母子保健・医療体制 (2)地域環境 (3)経済的負担の軽減

	事業名	令和4年度の取組内容・評価・改善要素等	R4 主担当課
(1)母子保健・医療体制	子育てコンシェルジュ事業	令和4年度に妊娠届出または転入のあった妊婦659人全員の状況を把握し、必要に応じて保健師・助産師等の専門職員が相談支援を行いました。また、要支援者95人に対し、必要に応じて支援プランを策定し、きめ細やかな支援を実施しました。コロナ禍の状況で、特に気になる妊婦や保護者には積極的に連絡をとり、必要な支援を行いました。	健康づくり推進課
	妊婦健康診査事業	妊娠届出時に妊婦健康診査公費負担受診券(14回分)を発行して定期的な受診を勧め、必要に応じて医療機関と連携して適切な保健指導を行いました。受診者数は実952人でした。また、令和2年度からの多胎妊婦への妊婦健康診査の拡充に伴い、基本健診6回分・超音波検査3回分の受診券を多胎妊婦へ追加発行しており、令和4年度に多胎児を妊娠していた21人中17人が追加受診券を使用しました。	健康づくり推進課
	Hello Baby 教室事業	妊娠・出産・育児の知識技術を学ぶHello Baby教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため集団形式での開催を取りやめ、令和4年度もWeb会議アプリを使用したオンラインでの教室を隔月で開催しました。受講が難しい対象者には、前年度に引き続きDVDと資料配布を行いました。教室参加者は、母81名・父65名(参加率:母13.7%、父11.0%)でした。	健康づくり推進課
	不妊治療等の給付事業	不妊治療、不育症治療を受けている夫婦に対して、自己負担額の1/2を助成し、経済的負担の軽減を図りました。(不妊治療133件4,974,864円、不育症治療12件 148,307円)不妊治療の保険適用範囲の拡充に加え、新たに先進医療について助成対象となったことで関心が高まっており、制度変更の周知や問い合わせへの丁寧な説明に努めました。	医療年金課
	新生児訪問事業	対象者603人中602人(99.8%)に訪問し、子どもと母親の健康チェックや子育ての様々な情報提供、必要な支援を行いました。新型コロナウイルス感染症に対する認識が少しずつ変化してきたことにより、訪問への拒否が減少し、訪問率が改善しました。訪問数のうち96.8%は生後2か月以内に訪問を行うことができました。未訪問者の状況も全数把握できています。	健康づくり推進課
	子育て応援教室事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、引き続きすべての子育て応援教室の集団形式での開催を取りやめました。離乳食教室(6回、参加者98人)、1歳3か月児教室(6回、参加者65人)は、Web会議アプリを使用したオンラインでの教室開催としました。10か月児教室は個別対応に変更して実施し、例年通りの参加率でした(12回、参加者670人、参加率97.4%)。	健康づくり推進課
	乳幼児健診事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染防止策を講じて実施しました。受診者数(受診率)は、4か月児健診598人(98.8%)、1歳8か月児健診671人(97.7%)、3歳6か月児健診708人(97.5%)で、受診率は例年通りでした。未受診者の状況は全数把握できています。	健康づくり推進課
	子育て相談会事業	子育て相談会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年の自由に来所する形ではなく、相談が必要な児に、予約制で保健師・管理栄養士による個別相談を実施しました。実施回数は12回、来所者数は延36人でした。	健康づくり推進課

事業名	令和4年度の取組内容・評価・改善要素等	R4 主担当課
発達相談事業	子どもの疾病や発達に関する専門医師や発達相談員による相談として、医師発達相談：延37人、心理発達相談：延351人、ことばの相談：延125人に相談を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度から中止していた年中児・年長児の保護者に対する発達障がいについての講演会を3年ぶりに開催しました。まるごとヘルシーフェスタ内で行い、参加者は16人でした。	健康づくり推進課
予防接種事業	予防接種法に基づき、病気の発病予防と重症化予防のため、乳幼児から高校生及び高齢者を対象に予防接種事業を実施しました。予防接種の必要な病気について正しい知識を普及するとともに、適切な時期に予防接種が受けられるよう働きかけ、乳幼児予防接種の接種率は概ね95%以上を達成しました。	健康づくり推進課
産後ケア事業	体調や育児に不安があり、家族等の支援が受けられない母親と乳児を対象に、産科医療機関におけるショートステイ（宿泊型）やデイケア（日帰り型）で、母子のケア、授乳や沐浴の指導、育児相談などを行います。令和4年度は15人（ショートステイは延べ36日、デイケアは延べ9日）の利用がありました。	子育て支援課
食育推進事業	令和4年度は、9月10日(土)にまるごとヘルシーフェスタを中央生涯学習センターで開催しました。食育ひろばとして地元特産品のなすを使ったレシピコンテスト、LIVEクッキング、保育園児の食にまつわる絵の展示を行うことで、家庭につながるができる食育の啓発に努めました。406人の来場があり、子育て世代を中心に親子で関心を持っていただきました。また、地元野菜を使った料理の調理動画の配信等を実施することで、コロナ禍でも自宅で気軽に視聴できるよう工夫をしました。その他、市政情報放映モニターによる食に関する情報提供（10回）等を行いました。 公立保育所、小・中学校では、配膳や喫食方法を工夫し、コロナ禍でも通常給食を提供しました。食に関する指導にも取り組み、給食日より等を通して、家庭への啓発に努めました。食物アレルギーを持つ児童生徒には個別面談を実施し、家庭との連携を密に対応を行いました。また、給食には地元の旬の農産物を納品することで、地産地消を推進し、地元特産品の啓発をしました。	健康づくり推進課 学校教育課 子育て支援課 農林振興課
(2) 地域環境 小学校学びの環境づくり事業	地域委員やPTA等からの通学路に関する危険箇所及び安全対策要望を、各学校が取りまとめ、学校教育課が集約したうえで、関係機関（府道路管理者・向日町警察署・市道路管理者・市交通安全担当課等）の協力のもと安全対策を講じました。また、通学路安全対策の一環として、通学安全反射幕の調達・設置及び通学安全整理員の配置を行いました。	学校教育課
幼児、小・中学校交通安全教育	教員等が、日常の教育現場等において継続的な交通安全教育が行えるよう、交通教育指導員から幼児、小・中学校へ、タイムリーな情報提供や資料・教材の支援を行いました。また、小学校2年生と放課後児童クラブの交通安全教室を実施しました。	交通政策課
少年補導委員会事業	校区ごとにパトロール等を実施し、地域の見守りや交流を行いました。 「安全・安心長岡京市子ども絵画展」において、245人の作品を展示し、135名の来場がありました。 「たそがれコンサート」を3年ぶりに、実施しました。 中学生とトークでは、向日町署の講演を聞き、長岡第二中学校の生徒と少年補導委員がSNSによる犯罪など中学生の身近にある犯罪について話し合いを行いました。	生涯学習課

	事業名	令和4年度の取組内容・評価・改善要素等	R4 主担当課
(3) 経済的負担の軽減	子育て支援医療費助成事業	中学3年生までの子どもの医療費を「1医療機関につき、上限200円/月」となるよう助成し、子育て家庭の医療費負担を軽減しました。 (受給者人数(月平均) 11,065人、助成額 307,074,013円)	医療年金課
	ひとり親医療費支給事業	ひとり親家庭の親と子や、3親等までの親族に扶養されている両親のいない子(いずれも高等学校卒業までの子)に対して医療費の助成を実施し、保護者の医療費負担を軽減しました。 (受給者人数(月平均) 1,047人、助成額 42,505,325円)	医療年金課
	幼児教育・保育の無償化事業	国制度等に基づき、保護者の経済的負担軽減のため幼児教育・保育の無償化を行いました。認可保育施設に在園する3歳から5歳児(住民税非課税世帯は3歳未満児も対象)の保育料を無料としました。また、幼稚園の保育料で計324,795,687円、その他(幼稚園・認定こども園の預かり保育、認可外保育施設の利用料)で計21,914,252円の利用給付を保護者等に対し行いました。令和4年度は、多様な集団活動利用支援給付金として192,000円を保護者に支給しました。	子育て支援課
	私立幼稚園副食費の補足給付事業	私立幼稚園在園児の保護者が実費負担している副食費について、低所得者の負担軽減を図るため、国の制度に基づき給付を行います。令和4年度は、182人の児童について、3,514,240円の補足給付を行いました。	子育て支援課
	認可外保育施設利用助成事業	認可外保育施設等に児童の保育を委託している保護者に対し、所得に応じて助成を行い、経済的負担の軽減を図ります。令和4年度は、延べ238人(各月合計)の児童について、3,187,000円の利用助成を行いました。	子育て支援課
	幼稚園設備費補助事業	私立幼稚園が幼児教育に必要な設備の購入費用に充てるための補助金を交付し、継続して設備の充実を図り、幼児教育の振興を図ります。令和4年度は、5園に対し、計1,050,000円の補助を行いました。	子育て支援課
	私立幼稚園心身障がい児教育振興補助金事業	心身障がい児が就園している私立幼稚園に対し補助金を交付することにより、当該幼児の幼稚園教育を受ける機会の拡充を図ります。令和4年度は、26人の児童について、2,548,000円の補助を行いました。	子育て支援課
	小学校・中学校就学援助支援事業	小・中学校の認定者計558名の保護者に対して、経済的援助(学用品費、医療費、学校給食費等の支給)を行いました。なお、認定に係る審査については、通常の審査項目に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により経済状況が急変した場合についても考慮し、柔軟に対応しました。	学校教育課
	小学校・中学校就学援助支援事業(特別支援学級)	小・中学校の特別支援学級に在籍する児童・生徒のうち、計211名の保護者に対して、学校給食費、修学旅行費、校外活動等参加費、学用品・通学用品購入費、新入学児童生徒学用品・通学用品購入費等の就学奨励費を支給し、特別支援教育の普及奨励を図りました。	学校教育課
児童手当等支給事業	子どもを扶養している家庭に対して、児童手当や児童扶養手当、特別児童扶養手当等を支給することにより、経済的負担の軽減を図ります。令和4年度は児童手当で計1,258,320,000円(6月定期払では6,390件)、児童扶養手当で計185,734,380円(5月定期払では384件)の支給を行いました。	子育て支援課	

事業名	令和4年度の実施内容・評価・改善要素等	R4担当課
障がい児福祉手当	身体または精神（知的含む）の重度の障がいがあるため日常生活において常時介護を必要とする在宅の20歳未満の重度障がい児（令和4年度延べ受給者人数：492人）に、障がい児福祉手当を支給し、経済的負担の軽減を図りました。広報紙記事や、障がい者福祉のしおりに情報を掲載し、制度の周知を行いました。	障がい福祉課
技能修得資金等支給事業（府事業）	各種技能修得施設で技能を修得する子どもに対して支給される技能修得資金と入所支度金の普及と啓発のため、京都府（保健所）による申請書等配布期間（3月ごろ）に合わせて、市役所内の窓口で就労や技能修得に関する相談を受ける可能性がある関係課へ同制度の周知・啓発を行いました。	社会福祉課

## 基本目標Ⅲ 「子育てと仕事を両立できる環境づくり」の主な取り組み

(1)保育サービス (2)仕事と生活の調和 (3)男女の共同

	事業名	令和4年度の取組内容・評価・改善要素等	R4 担当課
(1)保育サービス	一時預かり補助事業	多様な保育の確保のため、一時的または緊急的な理由により、家庭での保育が困難な子どもの一時的な保育を実施しています。令和4年度は、2つの民間保育園と3つの認定こども園において実施され、延べ1,170日の利用について、補助を行いました。	子育て支援課
	延長保育事業	通常の保育時間を超えて保育を実施するものです。保護者の就労形態の多様化により、多様な保育ニーズが高まっているため、継続して延長保育を実施します。令和4年度は、公立保育園においては、開田保育所、新田保育所で実施しました。	子育て支援課
	発達支援保育実施事業（職員研修）	発達支援保育に対応できる人員配置、職員の専門性向上のための研修、関連機関との連携を行います。令和4年度は、公立保育所において、16人の支援加配保育士の配置により、22人の支援を必要とする児童の保育を行いました。保育所内での研修を実施するとともに、外部の研修に参加しました。	子育て支援課
	ファミリーサポートセンター事業	子育てと仕事の両立を図るため、育児の援助を受けたい人と育児の援助を行いたい人が会員登録し相互に援助する活動を促進します。令和4年度は、938人の会員（依頼会員587人、提供会員275人、両方会員76人）の参画により、2,690件の活動がありました。	子育て支援課
	簡易保育施設補助事業	多様な保育の確保のため、認可外保育施設の経営の安定化と保育環境の改善を図り、助成金を支給します。令和4年度は、延べ185人（各月合計）の利用児童分として、2施設に計7,154,500円の助成を行いました。	子育て支援課
	駅前保育施設運営助成事業	駅前保育施設の多様な保育ニーズに対応したサービスの推進や、認可保育所の基準に準じた体制の維持、安定した運営の促進のために助成を行います。令和4年度は、延べ188人（各月合計）の月極保育利用児童について、13,045,520円の助成を行いました。他に年間延べで、一時預かりは205人、日祝日保育は30人、早朝夜間保育は0人でした。助成対象の事業所は、令和4年度末で閉所となりました。	子育て支援課
	保育所管理運営事業	保育環境の改善や施設の安全性の確保を図るため、継続して公立保育所の修繕を計画的に進めていきます。令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として、必要な衛生用品の調達のほか、施設の修繕・更新など安全や衛生に配慮した修繕等を行いました。	子育て支援課
	保育所施設整備事業	保育所の老朽化等の状況をふまえ、施設の修繕を計画的に進めるとともに、施設整備等の検討を進めていきます。令和4年度の新規開設施設はありませんでした。老朽化している保育所の改修・建替等の検討が課題です。	子育て支援課 福祉政策室
	民間保育所運営助成事業	保育施設で勤務する保育士への支援、多様な保育や運営に対する支援として、保育施設への助成を行います。令和4年度は、民間の保育園8園と認定こども園3園に対し、運営助成を行いました。	子育て支援課
地域型保育施設運営助成事業	小規模保育施設で勤務する保育士への支援、多様な保育や運営に対する支援として、保育施設への助成を行います。令和4年度は、民間の小規模保育施設13園に対し、運営助成を行いました。	子育て支援課	

事業名	令和4年度の取組内容・評価・改善要素等	R4 主担当課	
放課後児童健全育成事業	仕事と子育ての両立の支援のため、小学1～4年生を対象に放課後児童クラブを設置しています。 コロナ禍に対応した保育環境を整えるため、換気をしながらの保育に耐えられるよう、古くなり効きが悪くなっている長八小放課後児童クラブAの空調機器を更新しました。 また、長法寺小学校放課後児童クラブにおいて、令和5年度入会の申請が90人を超えたため、令和5年度から校舎内にある地域の会議室を保育室として通年で借用できるように、令和4年度中に学校及び地域と協議し、新たな保育スペースを確保しました。	生涯学習課	
放課後子ども教室【再掲】	(既記載のとおり)	生涯学習課	
(2) 仕事と生活の調和	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進	令和4年10月1日から施行された産後パパ育休制度の創設と育児休業の分割取得を周知するチラシを作成し、商工会会報誌12月号と1月号の2回にわたり940部ずつを同封し配布しました。長岡京市競争入札等参加業者公募の返信封筒へも約2,500部同封し配布しました。	男女共同参画センター
	女性活躍推進事業	女性の継続就労・起業・再就職や活躍の推進につながる事業として、9月27日、28日に「初めてのパソコン～エクセル編」、3月14日に「～自己表現・コミュニケーションする英会話～情熱に沿ってチャレンジ!」を開催しました。参加者の合計は36人でした。	男女共同参画センター
(3) 男女の共同	子育て支援講座	子どもたちにお金の教育を始める前に知っておきたいことや、家庭内でのルールの作り方、ソーシャルゲームやスマホアプリ課金のトラブル対処法など、最新の情報や正しい知識を学ぶ内容で、8月27日「おうちで始める“お金”教育」を開催しました。参加者は11人でした。	男女共同参画センター
	男女共同参画フロア運営事業	承認団体(推進団体5団体、賛助団体9団体)の延べ589人が多世代交流ふれあいセンター内「男女共同参画フロア」を利用し、男女共同参画推進に寄与する活動を推進しました。男女共同参画フロア運営会議を年4回開催し、フロアの適正な管理及び円滑な運営を図りました。	男女共同参画センター

## 基本目標Ⅳ 「子育てを社会で支える環境づくり」の主な取り組み

(1)支援の必要な家庭や自立の支え (2)相談・援助体制 (3)情報提供 (4)学習機会

	事業名	令和4年度の取組内容・評価・改善要素等	R4 主担当課
(1)支援の必要な家庭や自立の支え	育児支援家庭訪問事業	保健師等の専門職員が延904人(妊産婦含む)の家庭に訪問し、必要な支援を行いました。令和3年度と比較すると訪問数は減少していますが、育児支援の必要なケース数は令和3年度と同程度の件数であり、訪問以外の方法で支援を行っているケースもあります。今後も支援体制を整備していく必要があります。	健康づくり推進課
	養育支援育児・家事援助事業	養育を支援することが特に必要と認められる児童及びその保護者等に対し、家庭を訪問し、養育に必要な育児・家事援助を行います。令和4年度は、延べ65回の育児・家事援助を行いました。	子育て支援課
	子育て短期支援事業	保護者が一時的に児童の養育が困難となった場合、施設において、宿泊型のショートステイと、宿泊を伴わないトワイライトステイにより短期間、児童の養育・保護を行います。令和4年度は、2件(ショートステイ延べ7日)の利用がありました。	子育て支援課
	要保護児童対策地域協議会	児童虐待の未然防止から早期発見、早期対応を図るため、要保護児童対策地域協議会(要対協)等において情報交換や関係機関等との連携を図り、迅速対応に努めています。令和4年度は、要対協の代表者会議1回、実務者会議12回、個別ケース会議75回を開催し、各関係機関と連携しました。新規虐待通告受理件数は171件、要保護児童総数は415件です。	子育て支援課
	ペアレントプログラム(親支援プログラム)の充実	子どもとの適切な関わり方を学ぶ「前向き子育てプログラム(トリプルP)」や、初めて子育てをする母親が育児スキルを学ぶ「親子の絆づくりプログラム(ベビープログラム)」の実施を通して子育ての支援を行っています。令和4年度はベビープログラムは62組、トリプルPは講演会に11人と連続講座に10人の参加がありました。	子育て支援課
	子ども家庭総合支援拠点の整備	全ての子どもとその家庭、妊産婦を対象に状況把握や情報提供、相談対応などを行う子ども家庭総合支援拠点を令和4年度から設置しました。	子育て支援課
	DV相談、DV・児童虐待防止啓発事業	DV等被害者の支援とDV・児童虐待防止の啓発を行いました。常設相談窓口におけるDV相談件数は127件で、危険性・緊急性の高いケースは関係機関と連携し支援しました。DVと児童虐待の防止をめざす「パープル&オレンジリボンプロジェクト」を開催しました。期間中2つの講座を行い、11月11日「身近なところでDVが起これたら・・・～私たちにできることは?～」には34人、11月21日「虐待の淵を生き抜いて～人にもモノにも自分にもあたらない社会をめざして～」には30人の参加がありました。また、11月には図書館に啓発コーナーを設置し、関連図書59冊の貸し出しがありました。	男女共同参画センター
	母子福祉団体補助事業	ひとり親家庭の自立促進及び家族間の交流事業、子どもの居場所づくり事業等を行っている母子福祉団体への継続的な支援を実施し、ひとり親家庭に対する一層の福祉の増進を図ります。令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、一部事業を縮小等して事業が行われ、市からは運営に対する補助を行いました。	子育て支援課
	母子家庭奨学金等支給事業(府事業)	京都府が実施している奨学金制度の利用促進を図るため、市の広報紙やホームページへの掲載及び窓口での案内等により制度を周知します。令和4年度は、各種広報媒体等で案内を行い、平日に加え、4月と5月に1回ずつ休日窓口を設け、受付を行いました。	子育て支援課



事業名	令和4年度の取組内容・評価・改善要素等	R4 主担当課
母子家庭及び父子家庭自立支援給付事業	ひとり親の就業を支援し、経済的な自立を促進するため、職業能力開発の講座（自立支援教育訓練）や資格取得の養成機関での修業（高等職業訓練）に対し、助成金を支給します。令和4年度は自立支援教育訓練給付金3件、高等職業訓練促進給付金7件、高等職業訓練修了支援給付金2件等の支給を行いました。	子育て支援課
母子父子自立支援相談事業	母子家庭の母及び父子家庭の父の就労支援、子どもとの関係、離婚問題等に関する相談支援を実施します。令和4年度は合計182件の相談を受け付けました。	子育て支援課
子どもの貧困対策の推進	生活困窮世帯への学習支援として、京都府立大学と連携し無料の学習会を毎週実施しており、18名の児童・生徒の利用がありました。経済的に援助が必要な児童・生徒の保護者へは、就学援助費を支給しました。また、令和4年度は国の新型コロナウイルス感染症の関連事業として、生活支援特別給付金（子ども1人あたり5万円）を実施しました。	社会福祉課 学校教育課 子育て支援課
障がい児等相談支援	発達障がいのある人の早期発見・早期支援を進めるため、支援ファイル「ながおかきょう“リンク・ブック”」を活用し、切れ目のない連携システムを整備します。令和4年度の配布部数は253部でした。市ホームページにおいて、保健、福祉、教育分野の関係機関における取り組み紹介と利用方法、ダウンロード用様式の掲載を行ないました。	障がい福祉課
障がい児通所支援事業(児童福祉法)	障がいのある児童や発達に課題のある児童が、安定した生活が送れるよう、児童発達支援、医療型児童発達支援、保育所等訪問支援または放課後等デイサービスの支給決定を行いました。サービスを必要とする全児童に、障害児支援利用計画またはサービス等利用計画が作成されました。計画相談支援サービスなどのニーズの増大への対応が課題です。	障がい福祉課
障がい福祉サービス（障害者総合支援法）	障がいのある児童等が安定した生活が送れるよう、児童の特性等に応じた居宅介護（ホームヘルプ）や短期入所（ショートステイ）などの福祉サービスを必要に応じて関係者間で協議し支給決定しました。決定後もモニタリング等での児童の生活状態の把握や、適切なサービス提供に努めました。短期入所などのニーズの増大への対応が課題です。	障がい福祉課
地域生活支援事業	障がいのある児童等が安定した生活が送れるよう、地域生活支援事業による移動支援事業、日中一時支援事業、訪問入浴サービスなどを実施し、支給決定を行いました。児童を支援できるヘルパーについて、ニーズの増大への対応が課題です。	障がい福祉課
日常生活用具・福祉機器等の給付事業	在宅の障がい者（児）等に対し、日常生活用具の給付・貸与や、福祉機器等購入経費助成を行い、日常生活の便宜を図ります。令和4年度は1,846件の利用がありました。用具のニーズの多様化に対応するため、品目及び基準額の見直しを行いました。	障がい福祉課
障がい児等に対する負担軽減	障がい者（児）等の経済的負担を軽減するため、国の制度（高額障害福祉サービス費・高額障害児通所給付費・多子軽減措置等）や、府・市の制度（総合上限制度・心身障がい者扶養共済補助制度）について、「障がい者福祉のしおり」やホームページにより周知しました。一部制度の利用者が少ないため、さらなる周知が必要です。	障がい福祉課

事業名	令和4年度の取組内容・評価・改善要素等	R4 主担当課
障がい児等福祉に関する情報提供	障がいのある児童等が必要とする情報を得られるよう、「障がい者福祉のしおり」などによる情報提供を行います。令和4年度のしおりの発行部数は1,440部でした。市のホームページにPDF版を掲載、また視覚障がい者用に絵や図を用いていない文書のみのご案内も掲載しました。障がいの有無に関わらず理解しやすい内容、入手しやすい情報媒体への工夫が、継続して必要です。	障がい福祉課
発達支援保育実施事業	障がいのある児童や発達支援を必要とする児童の円滑な受け入れに努めるとともに、適切な保育の実施ができるよう体制整備を図ります。令和4年度は、発達支援保育指導会議の委員が公立・民間園に前期75人・後期77人を対象に巡回指導を行いました。発達支援保育（医療的ケア児含む）のニーズの高まりへの対応が課題です。	子育て支援課
(2) 子育てコンシェルジュ【再掲】	(既記載のとおり)	健康づくり推進課
家庭児童相談室	子育てに関する悩みごとや心配ごとを気軽に相談できるよう、家庭児童相談室で相談員が相談業務に対応しています。また、家庭に必要な支援を見極め、必要に応じて関係する機関につなぎます。令和4年度の相談・指導の件数は2,674件でした。	子育て支援課
子ども家庭総合拠点【再掲】	(既記載のとおり)	子育て支援課
地域子育て支援拠点事業	市内4か所の地域子育て支援センターで、親子のふれあい、交流、子育て相談等により、身近な場所で子育てを支援し、育児不安の解消や地域での孤立化の防止に努めています。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、一部規模縮小などを行いながら、事業を実施しました。来所人数は、エンゼルが2,450人、たんぽぽが1,438人、さんさんの会が1,595人、さくらんぼが1,621人でした（児童数集計）。	子育て支援課
教育支援センター事業【再掲】	(既記載のとおり)	教育支援センター
子育て支援連絡会	家庭児童相談室・地域子育て支援センター（エンゼル・たんぽぽ・さんさんの会・さくらんぼ）・中央公民館・健康づくり推進課・主任児童委員等を構成員として、子育て支援に関する情報の交換や共有を行います。令和4年度は令和5年3月6日（月）に開催し、意見交換を行いました。	子育て支援課
地域子育て支援拠点【再掲】	(既記載のとおり)	子育て支援課
民間地域子育て支援センター助成事業	前述の地域子育て支援拠点を運営する民間団体等に補助します。令和4年度も、地域子育て支援センターのうち、2か所の民間事業所（さんさんの会・さくらんぼ）に助成を行いました。	子育て支援課
市民活動応援補助金	子育て家庭や高齢者支援、防災など様々な地域課題の解決に向けた取り組みを実施する市民活動団体に対して補助金を交付し、活動を支援します。令和4年度は8件（958千円）交付し、市民活動団体に財政的支援をしました。「市民提案型協働事業コース」4件採択、「スタートアップコース」は4件採択。昨年度に引き続き、スタートアップコースは秋募集も行いました。	自治振興室
民間社会福祉活動振興助成	地域福祉活動を行うNPO法人やボランティア団体等計8団体（内、新規申請1団体）に対し、実績に応じて民間社会福祉活動振興助成金を交付し、活動を支援しました。子育て支援活動の分野では、乳幼児の親のためのグループワーク、子育て相談会、多くの親子参加者を募った季節のイベント、工作教室等に同助成金が活用されました。新規活動団体への一層の制度周知が課題です。	社会福祉課

事業名	令和4年度の取組内容・評価・改善要素等	R4 主担当課
地域福祉活動 団体支援事業 (民生児童委員協議会)	地域福祉活動において大きな役割を担う民生児童委員(定数146人、うち12人は主任児童委員)が活動するための支援を行いました。 (分野別相談・支援件数:子どもに関すること158件、内容別相談・支援件数:「子育て・母子保健」12件、「子どもの地域生活」94件、「子どもの教育・学校生活」21件、その他:要保護児童の発見の通告・仲介件数4件)	社会福祉課
地域福祉活動 団体支援事業 (社会福祉協議会)	社会福祉法に基づく地域福祉活動の支援を行うため、福祉行政との連携機関である社会福祉協議会に対し、職員派遣及びプロパー職員の確保のための補助金を交付することで、組織の体制強化を図りました。	社会福祉課
読書啓発活動 推進事業	読書啓発活動を行っている団体・グループに、イベントの企画運営等、活動の機会を提供し、市内のより多くの団体・グループの自主的な活動を充実させるための支援を行いました。	図書館
子育てボランティア	子育てボランティア養成いろは講座を開催し、新規申込者4名、継続希望者16名の計20名の申込がありました。新規申込者のうち1人が講座途中で辞退され、2人がボランティア登録を辞退されたため、来年度は子育てボランティアとして17人が活動されることとなりました。子育て支援の場として大事になる「子育てボランティアに求められること」の講義や、元消防職員による身近な事例の紹介、子育て支援センター職員から支援センターで行っている遊びを教わる等、特別編を含め全9回実施しました。子育て事業を実施する上で、子育てボランティアの協力は必須の為、有意義な内容となるよう、今後も、公民館としても注力する必要があります。	中央公民館
子育て支援活動事業(幼児家庭教育学級 びよびよクラブの企画運営)	子育てを孤立化させない環境が求められる中、びよびよクラブを前後期に分けてそれぞれ15組募集しました。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、定員を制限しての実施となりましたが、前期は8組からの申込みがあり、後期は11組からの申込みがありました。感染防止対策を徹底の上、他の親子と交流しながら、七夕やクリスマスなどの季節のイベントに応じた制作や親子遊びを行う機会を提供することができました。	中央公民館
(3) 情報提供	子育てに関する情報を市ホームページや子育て支援ナビ「ながすく!」に掲載するとともに、子育てガイドブック等の配布を通じて、子育て中の親子に必要な情報のタイムリーな発信に努めています。令和4年度末の「ながすく!」の登録者数は6,454人でした。子育てガイドブックは6月に2,500部を発行し、希望者・関係各所に配布し、ホームページで公開しました。	子育て支援課
(4) 学習機会	市民講座開設事業 市内で活動する個人や団体が自ら企画・実施する市民企画講座を51企画148講座実施しました。子ども及び子育てに関する講座は14企画31講座が実施となりました。子どもが一緒に参加できない講座については、託児付も開催できるようにしました。子ども及び子育て世代が学べる場を提供することができました。	中央公民館
ペアレントプログラム 充実【再掲】	(既記載のとおり)	子育て支援課
子育て支援活動事業(子育てふれあいルームの開放)	「子育てふれあいルーム」は、年間計72回開催、延べ1,307人(延べ641組)の参加がありました。昨年に引き続き定員を制限しながら、別室を設けて感染防止対策を徹底しながら参加者の利便性確保に努めました。コロナ禍により、日々状況が変わる中、子育てボランティアとも情報共有を行いながら、臨機応変に対応することができました。	中央公民館



## 🌱 合計特殊出生率 🌱

合計特殊出生率は15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの平均子ども数に相当します。

現在の人口を維持するためには、合計特殊出生率が2.07以上を保つことが必要とされています。

本市の合計特殊出生率は、国や京都府の数値を上回る状況となっています。最新の令和3年の数値を見ると、前年と比較して増加しており、ここ数年、1.40を上回る状況が続いています。

$$\text{合計特殊出生率} = \frac{\text{母の年齢階級別出生数} \times 5}{\text{年齢階級別女子人口}} \quad (\text{15歳から49歳までの合計})$$



令和3年合計特殊出生率(長岡京市)の算出表

年齢階級(歳)	年齢階級別女子人口(人) ①(R3.10.1現在)	母の年齢階級別出生数(人) ②	母の年齢階級別出生率 (②/①)×5
15～19	1,949	3	0.00770
20～24	1,887	23	0.06094
25～29	1,729	141	0.40775
30～34	2,051	241	0.58752
35～39	2,533	184	0.36321
40～44	2,887	45	0.07794
45～49	3,431	2	0.00291
計	16,467	639	1.50796

※合計特殊出生率は、長岡京市独自の計算値です。

